

公益財団法人日本食品化学研究振興財団
令和6年度助成決定について

公益財団法人日本食品化学研究振興財団（理事長 清水 康弘）は、次のとおり令和6年度助成金交付対象者（所属・職名は申請時）を決定しましたのでお知らせいたします。

研究助成採択件数および金額¹

一般研究	10 件	計	880 万円
課題研究	6 件	計	620 万円
合 計	16 件		1,500 万円

前期シンポジウム開催等助成件数および金額

2 件	計	70 万円
-----	---	-------

○一般研究

1. 食品添加物を安全な触媒として用いた生分解性高分子材料の合成法開発
（北海道大学 工学研究院 助教 Li Feng）
2. 食品添加物「乳酸」の新たな視点
～乳酸の経口摂取、運動併用による認知機能向上作用の解明～
（中部大学 応用生物学部 教授 津田 孝範）
3. 自動前処理装置を用いた食品中ピロリジジンアルカロイド類の高感度分析法の開発
（国立医薬品食品衛生研究所 食品部 第三室長 志田 静夏）
4. 母獣の D-tagatose 摂取による子孫のエピジェネティクス変動の解明
（京都大学大学院 農学研究科 助教 松居 翔）
5. 食品添加物の品質評価における高分子量縮合型タンニン標準品調製に関する基礎検討
（松山大学 薬学部 教授 天倉 吉章）

¹ 交付対象者名及び研究課題名は辞退分 1 件を除いている

6. 適切な健康影響評価系の構築を目指した、経口曝露後の銀ナノ粒子の存在様式変化を踏まえた体内動態解析
(和歌山県立医科大学 薬学部 教授 長野 一也)
7. 味覚用食品添加物による免疫調節機能
(広島大学原爆放射線医科学研究所 疾患モデル解析研究分野 教授 神沼 修)
8. ヒトの腸内で働く添加剤による抗酸化物質の酸化防止と栄養強化
(大阪大学大学院 理学研究科 教授 船橋 靖博)
9. アワノメイガ幼虫糞からの *Fusarium* 属糸状菌の分離とマイコトキシン汚染拡散機構の解明
(農業・食品産業技術総合研究機構 基盤技術研究本部 高度分析研究センター 上級研究員 中川 博之)
10. 食品添加物の定量評価のためのシングルリファレンス化合物のデザイン研究
(国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部 主任研究官 辻 徹一郎)

○課題研究

1. 既存添加物収載タンニン（抽出物）の機能性代謝物の探索
(岡山県立大学 保健福祉学部 教授 伊東 秀之)
2. 哺乳動物体内におけるカロテノイド異性化反応の探求
(京都大学大学院 農学研究科 助教 真鍋 祐樹)
3. ヒアルロン酸オリゴ糖の同時定量法による体内動態特性の解析と小腸免疫系への関与
(北海道大学大学院 薬学研究院 講師 佐藤 夕紀)
4. 食品添加物（酸化防止剤）の没食子酸プロピルが細菌・酵母・ヒトの細胞に与える影響の解析
(東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 永田 宏次)
5. ファインバブルを用いた新規フレーバー成分抽出手法に関する研究
(高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 教授 秦 隆志)

○（前期）シンポジウム開催等助成

1. 日本食品化学学会
第30回総会・学術大会
2. 日本脂質栄養学会
第33回大会